

今 営業科が熱くなってきました

① 1

2010. 8. 25

JR東海労東二運分会

車掌のみなさん 特に 運転担当車掌のみなさん

8月1日からの運転取り扱いの変更については「N32」で書きましたが、「本質が変れば……規定やマニュアルも変えていく」が今、あちこちで実践され検証されています。なかでも頑張っている新営業助役さんたち目立っていると思いませんか。

新幹線鉄道事業本部長の指示でしょうか。それとも科長の号令なのか。いやいや、新営業助役さんのやる気満々の熱さの現れでしょうか。

なぜ「特に 運転担当車掌のみなさん」かということ。添乗が頻繁に行われているからです。なかでも、ある運転士さんがCPAP強制着用で車掌業務を担当していますが、その運転士さんが運転担当車掌で新営業助役さんの添乗が連続してあったという異常があるからです。

またある車掌さんは、新横浜から新営業助役さんの添乗があったそうですが、停止位置の6～7メートル手前で急に突然、パッと（トリプルです。すごいでしょ～）柱の陰から出てきたそうです。隠れていたとは思いますが、とっさに「異常の発生」か、と思い、危うくUBSを引きかけたと言っていました。

しかも、ホームを過ぎて小窓を閉めるやいなや車内巡回の妨害かと思われる事態があったそうです。「〇〇さん運転台に何も出していないんですか」と。動揺しつつ慌てて〇〇さんは、「行路票と日報とチェックシートを出しています」と答えたそうです。実は、セキュリティ意識の高い〇〇さんは運転室の出入り扉を閉めていたため窓からのぞいたのでは座席の背もたれが目かくしとなって、何も出していないように見えたそうです。それよりも「どうせ〇〇は何も出していないはず」と確信しているの「指摘」ではないかと感じたそうです。

さらに、「それだけですか。標準時刻表は出さないのですか」との、追い打ちだったそうです。〇〇さんは、動揺しつつも「出しなさいと言うことですか」と聞いたところ、新営業助役さんは「確認しただけです」と繰り返したそうです。（さて、皆さんは何がおかしいか分りますか？）

「たまらんッス 程々にして 熱血は」 C D 頑 爺

今年度の掲示番号のロゴは「①」に決定です。心は「より安全なドア扱いの実践」です。この前の「N」は N700の安全を祈願したものでしたが、効果がありませんでした。残念ですが、キッパリと気持ちを切り換えることにしました。今後とも、ご愛読を。